

健康

献血にご協力ください

血液は人工的に作ることができず、長期保存もできません。病気のけがで血液製剤を必要とする方々は、皆さんの善意の献血により救われています。

献血は命を救う身近なボランティアです。皆さんのご協力をお願いします。

日時 6月13日(月)

①午前9時30分～正午

②午後2時15分～4時30分

場所 ①美和保健センター

②市役所甚目寺庁舎

※受付は400名のみです。

問合せ 健康推進課

☎443・0005

FAX 443・5461

戸籍・届出

住民票の写し等の第三者交付にか
かる「本人通知制度のご案内」

市では不正請求や不正取得による個人の権利の侵害防止を図ることを目的として、本人通知制度を実施し

ています。

事前登録した方の住民票の写し、戸籍謄本などを本人の代理人や第三者による請求に基づいて交付したとき、事前登録した方へ交付した事実をお知らせする制度です。(国、または地方公共団体の機関を除く)

なお、証明書を交付した第三者などの個人に関する情報はお知らせ、証明はされません。

登録窓口 市民課(甚目寺庁舎)

美和・七宝市民サービスセンター

登録できる方

・市に住民登録されている方(平成26年6月19日以前に転出された方は登録できません)

・市に本籍がある方、または、本籍が過去にあった方

※死亡された方は対象となりません。

登録に必要なもの

・登録する本人がお越しになる場合
本人確認書類(自動車運転免許証、旅券、個人番号カードなど)

・代理人がお越しになる場合

委任状と代理人本人確認書類、登録希望者の本人確認書類(コピー可)

・法定代理人がお越しになる場合

戸籍謄本など関係を証明する書類と法定代理人の本人確認書類

問合せ 市民課

☎444・3167

FAX 443・3555

環境・衛生

身近な温暖化対策について

二酸化炭素は、化石燃料等を燃焼させることで大量に発生します。発電所やごみ処理施設の焼却炉、また自動車のエンジンも化石燃料であるガソリンを燃焼させています。こういったものを抑制することが、温暖化対策になります。わたしたち一人ひとりがライフスタイルを見直し、温暖化対策を心がけることで温室効果ガスを抑制することができます。

4R

4Rは、リフューズ(Refuse)断る)、リデュース(Reduce)減らす)、リユース(Reuse)再利用する)、リサイクル(Recycle)再資源化する)の頭文字です。不要になつたものを捨てるのではなく、必要に応じて修理し再利用すること、分別して再資源化することで、ごみの減量につながります。ごみを減らすことでごみの処分や、製品を新たに製作する際に発生する二酸化炭素

を抑制できます。

マイバッグ・エコバッグの使用

スーパーで買えるレジ袋はごみとして焼却することで、二酸化炭素が発生します。いろいろ使えて便利な物ではありますが、レジ袋を断ってマイバッグやエコバッグを利用することが温暖化対策になります。

節電

日本の電気は主に火力発電でまかなわれており、液化天然ガスや石炭、石油を燃焼させて作られています。そのため、必要のない電灯を消す、エアコンの設定温度を極端に高くしたり低くしたりしない、待機電力を消費しないよう使用しない家電製品のコンセントを抜く等、各家庭が節電を心がけることが温暖化対策になります。

公共交通機関や自転車の利用

お出かけの際はできるだけ自家用車の使用を控え、電車やバス等の公共交通機関や自転車を利用することで、ガソリンを燃焼することで発生する二酸化炭素の削減につながります。

問合せ 環境衛生課

☎444・3132

FAX 443・3555

令和4年中
交通事故死亡者数

地 域	死者数
愛知県	34人
津島警察署管内	0人
あま市	0人

令和4年3月末現在

問合せ 安全安心課
☎444・0862 FAX441・8330

交通安全

あま市月別窃盗犯発生状況(暫定値)

手 口	令和4年 3月中 認知件数	前月比
侵入盗 (空き巣など)	6件	-9件
乗物盗 (自動車盗など)	10件	+8件
非侵入盗 (車上ねらいなど)	9件	-3件
計	25件	-4件

問合せ 安全安心課
☎444・0862 FAX441・8330

防犯

交通事故の起こりやすい場所～守って安全・知って安心～Vol.71

問合せ 安全安心課
☎444・0862
FAX441・8330

(危険と感じる場所や体験等の情報を募集しています)

問合せ 安全安心課



名称 弘誓寺横の交差点周辺
場所 小橋方寺西
この交差点は通学路。周辺道路の路側帯は狭く、朝は児童たちの列に学生の自転車加わる。さらに、路側帯を占拠している路上駐車が多い。そのため、児童たちはそれを避けて道路の中央にまで出てしまう。その時、自転車や自動車が行きかかれ、接触の恐れがある。また、交差点の東側には工場の出入り口があり、児童たちはその前を横切る。朝と夕、この付近をたくさん通る児童が通ること、路上駐車が児童の安全な通行を妨げていることを、ドライバーは知っておく必要がある。(市公式ウェブサイトに掲載ヒヤリハット・あ！マップから抜粋)

交通安全まんが みどりちゃん 沢村ツトム



災害発生直後から、被災市町村へ救援物資が届くには数日はかかるといわれています。その間を過ごすためにも、普段から非常食を購入し、期限が迫ったら使用するなどして、無理なく備蓄を始めましょう。

水や非常食・食糧品の備蓄を

あま市が位置する尾張西部という地域は、南海トラフ地震を始めとした地震災害発生の危険性があり、住宅の倒壊や地盤の液状化被害が危惧されています。地震の発生を防ぐことはできませんが、地震による被害を軽減することはできます。いまだできることから始めましょう。

防災

地震災害に備えるために

備蓄物資の例

- ・ 水(一人当たり一日3リットル)
- ・ 食糧(カップ麺、ビスケット)
- ・ 日用品、医薬品、口腔ケア用品など生活必需品

隣近所で助け合える関係作りを

過去の災害において、救助された方の多くは、隣近所の方々に助け出されたというデータがあります。災害が起こったときに、行政、消防、警察などはすぐに救助に行けない場合があります。日頃から、防災訓練などを通じて、隣近所との関係を大切にして、いざというときに助け合える関係を築きましょう。

問合せ 安全安心課

☎444・0862
FAX441・8330